

農福連携技術支援者育成研修(農業版ジョブコーチ育成研修)
岡山県版 受講者募集!

「農福連携技術支援者」は、農業者、就労系障害福祉サービス事業所の職業指導員、障害者の三者に対して農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする専門人材です。修了試験を含む全ての研修課程を受講し、農林水産省から必要な知識と技能を身につけたと認められた方は「農福連携技術支援者」として認定されます。

日時・場所	講義内容	講師
11月11日(水) 9:30～16:10 ピュアリティまきび 岡山市北区下石井2-6-41	社会福祉と障害者福祉	岡山大学 吉利宗久教授
	障害特性と職業的課題の基礎	岡山大学 仲矢明孝教授
	障害者雇用と障害福祉サービス事業の仕組み、関係機関の役割	岡山県障害福祉課
11月12日(木) 9:00～16:10 岡山県立青少年農林文化センター三徳園 岡山市東区竹原505	障害特性に対応した農作業支援技法(実地研修)	山陽学園大学 大島珠子助教
	農福連携概論	岡山県農福連携サポートセンター
	障害福祉サービス事業の運営の実務	(合)ど根性ファーム
11月13日(金) 9:00～15:50 ピュアリティまきび	農業と農村社会、農業経営の仕組み	岡山大学 大仲克俊准教授
	農業者による農福連携の経営実務	岡山県農福連携サポートセンター
12月10日(木) 9:00～16:00 三徳園	農作業の流れ	三徳園
	農作業の一般的な特徴	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 中本英里研究員
12月11日(金) 9:00～16:00 三徳園	農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法(グループワーク・実地研修) ①刈払機、②平ぐわ畝立て、③播種、④黒大豆選別	兵庫県立大学 豊田正博准教授 三徳園
12月17日(木) 9:00～16:00 笠岡市11番町	障害福祉サービス事業の運営の実務(事業所見学)	(合)ど根性ファーム
12月18日(金) 9:00～15:40 三徳園	農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法(実地研修)	三徳園
	修了試験・情報交換	

〈対象者〉・すでに農福連携の支援に関わっている者又はこれから関わろうとする者

(例:農業者、障害福祉サービス事業所、自治体、JA・団体・職員、民間企業、その他農福連携に関心のある者等)

・農福連携技術支援者として岡山県内で活動できる者(近県の者を含む)

・修了試験を含む全ての研修課程を受講できる者(※欠席された場合、農林水産省の認定はありません)

〈定員〉 20名 〈受講料〉 無料

〈その他〉・実地研修では、農作業を行いますので、農作業に適した服装をしてください。農業用機械や農機具等を操作します。講師や職員等の指示に従わない場合は、危険が伴う場合もありますので、受講者各自の判断で任意の傷害保険への加入をお勧めします。

※農福連携技術支援者(農林水産省認定)は、国家資格ではありません。

<https://www.pref.okayama.jp/page/680728.html>



10月12日(月曜日) 申込〆切

令和2年度 農福連携技術支援者育成研修 受講申込書

(1) 氏名	(ふりがな)
(2) 住所	〒
(3) 生年月日	年 月 日
(4) 性別	
(5) 職業	
(6) 電話番号	
(7) メールアドレス	

受講にあたっての配慮事項

--

これまでの経験、保有する資格、受講した研修、活動の可能性など

(1) これまでの経験、	
(2) 保有する資格、受講した研修など	
(3) 研修終了後に実際に行うことが可能な活動	

〈注意事項〉

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の情勢により、研修が中止される場合があります。受講者として決定した後であっても、感染の疑いのある者は、ただちに連絡のうえ、受講申込みを取り下げること。また、研修期間中に、発熱等の体調不良が生じた場合は、受講を控えること。研修中、全ての受講者は、マスクを着用すること。
- ・健康保険証を持参してください。
- ・応募者多数の場合は選考の上、受講者を決定いたします。

10月12日
(月曜日)
申込〆切

【提出先】 岡山県農林水産部農産課 担い手育成班

住所： 〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号
岡山県農林水産部農産課担い手育成班

FAX： 086-224-1278

メール： kazuhiko_ishii@pref.okayama.lg.jp

【問い合わせ先】 TEL： 086-226-7420